

平成26年度前期プレアボイド報告

平成26年3月から8月末日までに未然回避出来た報告例(平成26年9月集計)

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日	
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法			
1	女性	70歳代				処方箋	特殊な状況	ザイザル5mg	1T	就寝前	ザイザル5mg	0.5T	就寝前	薬剤減量	2014/8/18	
【報告者のコメント】ザイザル5mg錠就寝前処方。高齢者であり、処方元にクレアチニンの値を確認、体重が45kg程度とはっきりしなかったが、クレアチンクリアランスが50程だったので、処方元に確認したところ、0.5Tに減量																
2	男性	60歳代				処方箋監査	処方箋	誤転記・語処方	トリゾールカプセル	200mg	朝夕食直後	トリゾールカプセル	200mg	朝食直後	用法変更	2014/8/22
【報告者のコメント】深在性真菌症にてトリゾール50mgを使用する際、4カプセル1回が通常である旨を疑義照会後変更となる。																
3	女性	70歳代				薬剤管理指導	病院に問い合わせた検査値	誤転記・語処方	エリキュース	2.5mg	朝夕食後	エリキュース	5mg	朝夕食後	薬剤増量	2014/8/27
【報告者のコメント】体重・年齢・血清クレアチニン値により投与量が変わるため、念の為処方元に検査値を確認後用量変更となる。																
4	女性	60歳代				調剤	処方箋	誤転記・語処方	ロイコポリン錠25mg	75mg	分3毎食後	ロイコ錠10mg	30mg	分3毎食後	薬剤変更	2014/8/28
【報告者のコメント】ロイコポリン錠が単剤で処方されることは考えにくいので、担当医師に疑義照会、転記の誤りであることが判明。																
5	女性	30歳代				処方箋監査	処方箋	併用注意	フェルムカプセル100mg	100mg	分1朝食後	フェルムカプセル100mg	100mg	分1朝食後	薬剤変更	2014/3/11
【報告者のコメント】セフゾンは鉄剤との併用で効果減弱の注意点あり、疑義照会を行い他の抗生物質に変更となる。																
6	男性	68歳		DM・HT		薬剤管理指導	お薬手帳	同種同効薬重複	アレグラ錠60mg	2錠	朝夕食後	アレグラ錠60mg	2錠	朝夕食後	薬剤中止	2014/4/18
【報告者のコメント】数科に受診、各々にお薬手帳を作成記録されており手帳が機能していない状態、循環器科よりアレグラ処方服用中にイボの除去のため皮膚科を受診され皮膚科でセチリジンが処方されていた。全ての手帳を確認出来た事で同種同効薬重複に気づいた。この時、手帳を一冊にまとめた。																
7	男性	50歳代		逆流性食道炎・腰椎間板ヘルニア		薬剤管理指導	お薬手帳	重複投与	ラベプラゾールNa錠	10mg	分1朝食後	ラベプラゾールNa錠	10mg	分1朝食後	薬剤中止	2014/8/8
【報告者のコメント】A 医院よりタケブロンODが処方されたが、B 医院より数か月前からラベプラゾール服用中であった為、同種同効薬であることを説明、本人も胃薬との認識からタケブロンはまだ服用していないとのこと、A 医院の医師へその旨報告するよう説明する。																
8	女性	70歳代				処方箋監査	処方箋	併用禁忌	パキシルCR12.5mg	1T	分1夕食後	パキシルCR12.5mg	1T	分1夕食後	薬剤変更	2014/8/7
【報告者のコメント】エフビーOD錠は禁忌が多いため、処方箋監査を徹底したい																
9	女性	70歳代		糖尿病性神経障害に伴う疼痛		薬剤管理指導	処方箋	過量投与	サインバルタ20mg	60mg	分3毎食後	サインバルタ20mg	20mg	分1朝食後	薬剤減量	2014/9/8
【報告者のコメント】通常量は1日1回40mg朝食後、1日20mgより開始。今回の処方は初回のため、用法用量共に過量を疑い、処方医へ疑義照会。																
10	女性	80歳代				処方箋監査・薬剤管理指導	お薬手帳	同種同効薬重複	ドグマチール50mg	2T	朝夕食後	ドグマチール50mg	2T	朝夕食後	服薬指導	2014/9/8
【報告者のコメント】お薬手帳に他医院にて同日スルピリド50mg2T朝夕食後の処方記載、本人はドグマチールとスルピリドが同じ薬とは思っていなかったとのこと。ドグマチールは継続して処方のものであり、処方削除も提案しましたが、「重複して服用しないで継続して服用する」ということで処方のままとし、服薬指導時に確認。																
11	女性	80歳代		便秘		薬剤管理指導	お薬手帳	その他の副作用	ツムラ大黃甘草湯	7.5g	毎食前	アローゼン顆粒	1g	就寝前	薬剤変更	2014/7/31
【報告者のコメント】他医院で漢方処方では不整脈誘発の既往歴有りの為、漢方処方中止、本人アローゼン服用希望の為、アローゼン顆粒1gへ変更																
12	女性	80歳代					お薬手帳	同種同効薬重複	マイスリー5mg	1錠	就寝前	なし			薬剤中止	2014/9/1
【報告者のコメント】当薬局で以前より定期的にマイスリー処方されており、時々手帳は確認、今回持参の手帳にて、他医院よりマイスリー5mg追加処方されている。本人は同じ薬であるとの認識はない様子。他医院(薬局)での確認漏れ? 今後マイスリー5mgのみでの睡眠状態を懸念																
13	男性	36歳				処方箋監査	お薬手帳	誤転記・語処方	チラージンS100	1T	朝食後	チラージンS100	2T	朝食後	薬剤増量	2016/8/30
【報告者のコメント】内科初診(転院)にてチラージンS125mg処方、お薬手帳にて前医院での処方内容を確認すると、チラージンS200mg処方であった。75mg減量に違和感あり、疑義照会し225mg処方予定であったことを確認。チラージンS100mg2TチラージンS25mg1Tに変更となった。																